





【参加者募集】


リーダーシップ・トレーニング・センター

日本赤十字社は、2泊3日の宿泊研修を通して、自ら「気づき・考え・実行する」リーダーを育成します。

《 青少年赤十字メンバーの合言葉 》

『気づき』 

『考え』 

『実行する』 

苦しんでいる人・困っている人を見かけたときに「何かしなくては」「何かしてあげたい」という思いやりの気持ちを行動に移す力、**リーダーシップ**を身につけよう！

何かをしなくては



何かをしてあげたい



募集人数：青少年赤十字加盟校 中学生 45名

期間：令和8年8月14日(金)～16日(日)

宿泊先：高尾の森 わくわくビレッジ(八王子市)

参加費：6,000円(宿泊費、初日昼食から最終日昼食までの費用を含む)

後援：東京都教育委員会



赤十字ならではのプログラムがたくさん。



ホームルームに分かれて生活、学習をします。



応急手当や福祉体験を通し、
命や助け合うことの大切さを学びます。



トレセンの成果を生かし、各学校に
帰ってリーダーシップを発揮します。



掲示板を通じた指示のない生活から、
「気づき」を学びます。



新たな出会いと感動の4日間！

経験豊かな先生方が中心と なって指導にあたります！

新しい自分に出会いたい、リーダーとして成長したいなど、参加の動機はさまざま。子どもたちが自分の目標に近づき成長していくことを実感できるプログラムです。(参加教師の感想)

【参加者の声】

トレセンのプログラムを通して、1人ですべて考えるのではなく、みんなで協力し合うことが大切だと感じました。

(中学2年生 男子)

トレセンでは「災害」についても学ぶことができました。一人ひとり普段からの防災の備えが大切だと思いました。

(中学2年生 女子)

【所属校の声】

集団で意見をとりまとめる役を担ったり、その中で一人一人の希望を聞いたうえで合意形成を図ったりするようになりました。

自分を表現することが少し苦手だったので、気づき、考え、実行するを合言葉に少しずつ自分から動こうとするアクションができるようになりました。

- 一、誰も号令をかけない、かけられない生活をする。
- 一、五分前行動をする。
- 一、ものごとを決める時は、すぐ先生に頼らず、自分たちで考えて決める。
- 一、みんなのためにできることを進んで行う。
(ボランティア・サービス[V・S]活動)
- 一、注意深い生活をする(時計や掲示板を見る習慣を身につける)。



【問い合わせ先】日本赤十字社東京都支部 青少年・ボランティア課
TEL:03-5273-6751 E-mail:seishonen@tokyo.jrc.or.jp

『開催要項』(下記 QR コードからアクセス!) をよくお読みの上、お申込みください! /